

2011年3月10日

サイコロの旅2 仙台⇒弘前
日本列島サイコロの旅 ～2011春～

企画：冬野雪地

1. 企画の趣旨

2010年3月6日。冬野雪地の企画立案により、友人 YUYA と共に、東北地方を舞台としたサイコロの旅が行われた。スタート地点は秋田県大館市、ゴールも大館ということで始まったが、期間がその日 1 日しかなかったこともあり、秋田県湯沢市でギブアップ。悔いが残る結果となった。

あれから 1 年、いずれはリベンジしたいと考えていた冬野・YUYA 両名の見解の一致により、この春に第 2 弾を行うことが 2011 年 1 月 28 日に決定された。前回の反省を生かし、念密な計画と十分な期間の確保に努めたことで、3 月 11 日から 15 日までの 5 日間という長期開催にこぎつけることができた次第である。

奇しくも 2011 年 3 月は、サイコロの旅の元ネタである「水曜どうでしょう」の放送が 4 年ぶりに行われることもあり、今回の旅が「水曜どうでしょう」の偉大さを再認識する機会となることを願ってやまない。

2. ルール

スタート地点を宮城県仙台市に設定し、11 日(金)から期限の 15 日(火)までにゴールの青森県弘前市にゴールインすることを目標とする。弘前にゴールインすることで企画は達成されるが、期限までに到着することができない状況となった場合はその時点でゲームオーバーとなる。

サイコロの 1～5 の目に目的地が設定され、(6 の目については後述)、サイコロを振って出た目に書かれた目的地に移動する。これを繰り返していき、弘前の目を出してゴールインすることを目指す。サイコロの権限は絶対であり、その決定は生きとし生けるものに覆せるものではない。

選択肢の決定は基本的に冬野が行う。時刻表を元に目的地を決定する。選択肢には「宿泊」の目も含まれ、「宿泊」の目が出ない限りは深夜でもサイコロを振って移動を続ける。

「宿泊」の目が出た場合、宿泊手段についてはサイコロの権限は及ばず、メンバー全員の話し合いによって決定される。ホテル・民宿・ネットカフェ・カラオケ・野宿など、いかなる宿泊手段でも自由に選択できる。ただし、その場所で宿が手配できない場合でも、まだ動いている列車に乗って別の町に移動してはならない。逆に言えば「宿泊」の目は翌日の始発まで移動が封じられるという意味であり、宿がない場合は生命の危険が及ばない限り問答無用で野宿となる。

目的地への移動は基本的に JR の列車によって行う。事前に青春 18 きっぷを購入しておき、普通・快速列車の乗り継ぎで目的地を目指していく。場合によっては乗り継ぎが上手く行かず駅で数時間待たされる可能性もあり、その点においても忍耐力が必要となる。また、主戦場となる東北地方においては、青い森鉄道・IGR いわて銀河鉄道・十和田観光電鉄・弘南鉄道・津軽鉄道・三陸鉄道・仙台空港鉄道・秋田内陸縦貫鉄道・由利高原鉄道・山形鉄道・阿武隈急行・福島交通・会津鉄道といった私鉄・第三セクター鉄道がある。これらの路線は青春 18 きっぷの対象外となり、別料金が必要となる。青春 18 きっぷを基準として移動するため、私鉄・第三セクター鉄道は基本的に利用しない。しかし、移動の効率を考慮し、必要に応じて別料金を支払った上で利用することもある。

例えば、盛岡から弘前まで移動する場合、①花輪線で大館まで移動し、大館から奥羽本線で弘前に向かう、②八戸・青森を経由し、弘前に向かう、の 2 ルートのどちらかが一番早く着くルートとなる。しかし、①の花輪線は盛岡～好摩間は IGR いわて銀河鉄道であるため、630 円の別料金が必要となる。②の場合も、盛岡～八戸が IGR いわて銀河鉄道と青い森鉄道となっており、2960 円の別料金が発生する。青春 18 きっぷの利用が基本のため、本来であればこれらのルートは除外される。しかし、青春 18 きっぷのみで行ける路線のみを利用した場合、到着時間は大幅に遅れる。3 月 12 日に盛岡を朝一に出発した場合を考えると、①盛岡 6 時 55 分出発、弘前 11 時 32 分到着、②盛岡 6 時 44 分出発、弘前 11 時 25 分到着、③青春 18 きっぷのみであれば、盛岡 5 時 27 分出発、弘前 12 時 56 分到着となり、①や②に比べて時間が大幅に長く遅くなる。このように、JR 線にこだわるとその後の日程に支障が出ると判断される場合などには、選択肢に別料金が発生すると明記した上で JR 普通・快速列車以外の交通手段を用いる場合もある。盛岡～弘前の例では、①・②以外にも、④高速バスヨーデル号 (2930 円)・みちのく号 (2310 円) を利用したり、⑤盛岡～八戸で東北新幹線はやて号に乗車 (3410 円)、⑥レンタカーを借りる (3150 円が目安) といった可能性も考えられるが、料金の兼ね合いで最終日を除けば①・③を基本とする。

なお、第三セクター鉄道である青い森鉄道には特例があり、青森・野辺地・八戸で乗降する場合は青春 18 きっぷのみで利用でき、別料金はとられない。

その他、JR 線以外の利用が想定される場所はいくつかあるが、別料金が発生する旨はその都度選択肢に記載し、その場合も最小限の料金で済む交通手段を選ぶよう努力する。また、距離を稼ぐため、時間を節約するためなどの場合において、電車以外のバス・船などの交通機関が選択される場合もあり、同様にその旨選択肢に記載する。なお、冬野は飛行機が大の苦手であり、それ以外生き延びる方法がない場合を除いて飛行機が交通手段となることはない。

そして、完全オリジナルルールとして、サイコロを振る前にクイズを行う。これは、到着した目的地にちなんだものを出す。例えば、盛岡が目的地となったとする。この時、盛岡に到着して盛岡で次のサイコロを振る前に、盛岡に関連したクイズを出す。せつかく全国各地を回るのに、ただ到着してすぐ移動するのを繰り返すだけでは勿体無いこと。そし

て、一種の番組として、「旅をしながらその土地のことを知るができる」教養面を出すことで、視聴者の目を引くことにつなげたいと考えた結果である。

クイズのジャンルは多岐に渡るため、正答に至るのは困難と思われる。

ルールとしては、駅に到着した時点で冬野が出題し、YUYA・八百・さわの三名が協力して答える形となる。問題には三つの選択肢が用意されており、1～3の中から一つを選んで回答する。制限時間は一分間であり、問題・選択肢を一回読んだ時点からカウントされる。

回答にあたっては、携帯端末の使用は禁止する。それ以外のあらゆる方法を認める。

正解した場合は、1～5のサイコロの出目の中から好きな目的地の一つを選んで、6に加えることができる。さらに、街に繰り出して観光する権利が与えられる。不正解・時間切れの場合は、冬野の独断で「1～5の中で最悪の出目」が選ばれ、6に追加される。また、その駅を一番早く出発する電車に乗る義務が課せられ、待ち時間が発生する場合でも、駅から出ることはできない（サイコロで「宿泊」の目を出した場合は、この制限は除外される）。

3. 日程

◆ 3月11日(金)

- メンバー合流
 - 仙台駅集合
 - 12時30分頃 サイコロの旅開始

◆ 3月15日(火)

- 23時59分 タイムリミット
- 間に合わなかった場合、16日(水)午前には帰宅できるようにする。

4. 参加者

- 冬野 雪地 (とうの ゆきち)
道中はディレクターを担当。
- YUYA
道中は出演者。
- 八百 空音 (やお そらね)
道中は出演者。
- さわ
道中は主にカメラを担当。

5. 各自準備するもの

- お金
 - スタート時点で最低限必要なのは、高速バス代 3900 円と青春 18 きっぷ代 11500 円の計 15400 円。それ以外に食事代・宿泊代・別途交通費・お土産代などがかかることから、これらを 1 日あたり 5000 円と見積もり、合計 40000 円用意することを最低条件とする
- 青春 18 きっぷ
 - 事前に一人 1 枚購入しておくこと (11500 円)。各自で管理する。15 日(火)よりも早くゴールインした場合は利用期間が余るので、各自で売るなり使うなりすること。
- 保険証・学生証
 - 保険証はコピーでも可。学割はいつどこで使えるか分からないので、学生証があると便利。
- 薬
 - 常用しているものがあれば必須。いつ体調が崩れるか分からないので、風邪薬・胃薬・酔い止め等の薬も心配なら。法的・倫理的に問題のある薬に関しては一切の携行・使用を認めない。
- 携帯電話
 - 万一はぐれたら連絡取るのに使います。
- 服
 - 着替えも含む。大荷物持って移動するわけには行かないので最小限に。期間中の気温を予測して着るものは考える事。経験上、この時期に南に行ったからと行って極端に気温は変わりません。北は経験ないから分かりませんが。
- 宿泊道具
 - 歯ブラシ・タオルなど。ホテル泊まる気であるなら必要なし。
- 暇つぶしのもの
 - 長時間移動なので必要なら。寝るかずっとトークする気ならいらぬ。寝るならアイマスクあるとだいぶ違う。

6. 冬野が準備するもの

- 選択肢フリップ
 - サイコロの1～6の目に振り分けた選択肢を書くもの。
- サイコロ
 - これがないと話にならない。前回ダイソーで購入したものを使う。
- ICレコーダー
 - SANYO ICR-RS110M。電池式。記録メディアはmicro SDカード。
- ビデオカメラ
 - SONY DCR-TRV30。記録メディアはmini DVテープ。バッテリーは2、3時間程度もつ。予備バッテリーなし。
- デジタルカメラ
 - バッテリー式は、いつ充電できるか分からない旅において使いづらいため、友人より電池式のを借りた。メディアはSDカード。
- SDカード・micro SDカード
 - 128MB、256MBのSDカードが1枚ずつ。1GBのmicro SDカードが1枚、2GBのmicro SDカードが3枚ある。写真を約3800枚撮影可。
- 電池
 - 繰り返し充電して使える充電電池eneloopの単三が5本ある。

7. 収録方法

クイズに答えるときとサイコロを振るときのみ、ビデオカメラによる撮影を行う。これは、ビデオカメラのバッテリーの持続時間に不安があるためである。移動時や、宿での収録は、ICレコーダーによる録音と写真撮影を併用する。

8. 参考文献・サイト

- 『JR時刻表 2010年12月号』交通新聞社
- 『JR時刻表 2011年3月号』交通新聞社
- 水曜どうでしょう <http://www.htb.co.jp/suidou/index.html>
- JR 東日本 <http://www.jreast.co.jp/>
- 青い森鉄道 <http://aoimorirailway.com/>
- IGR いわて銀河鉄道 <http://www.igr.jp/>
- SONY <http://www.sony.co.jp/>
- Wikipedia <http://ja.wikipedia.org/wiki/>
- えきから時刻表 <http://www.ekikara.jp/top.htm>
- えきねっと <http://jreast.eki-net.com/>
 - 青春18きっぷ <http://www.jreast.co.jp/tabidoki/service/seishun18/>
- よっしーの18きっぷガイド <http://www6.airnet.ne.jp/yossy/index.htm>
- 青春18きっぷさかなのページ <http://www2s.biglobe.ne.jp/~sakana/>
- 青春18きっぷ 徹底活用旅行集 <http://www.geocities.co.jp/SilkRoad/1149/>
- Local Train Trip. (青春18きっぷと大阪からの普通列車の旅)
<http://train.whoa.jp/index.html>
- ニコニコ動画 <http://www.nicovideo.jp/>
 - 「18切符でサイコロの旅やってみた」
<http://www.nicovideo.jp/mylist/8388177>
 - ・ ニコニコ動画におけるサイコロの旅企画の最高峰。舞台は関西。出演者の高いトーク力と「水曜どうでしょう」そっくりに仕立てあげる編集力は他に類を見ない。
- ずみがき！ <http://zumigaki.blog63.fc2.com/>
 - 「18切符でサイコロの旅やってみた」の出演者によるブログ。更新停止中。

企画

- 冬野雪地 (空色図書館 <http://sorairotosyokan.obunko.com>)